

コラム① 秋田県大館市の事例(大館市教育研究所)

大館市では子供たちのキャリア教育のために、地域の企業を活用した“大館ふるさとキャリア教育”を推進しています。

“ほんもの”に直接ふれる体験が、子供たちの可能性を広げる ～子どもハローワークの取組～

「大館ふるさとキャリア教育」を支える特長的な取組として、『大館市教育研究所』(土曜学習応援団)の「子どもハローワーク」の事例をご紹介します。「子どもハローワーク」は、子供と職業、子供と地域社会、子供と大人、そして、自分の未来へとつなぐハブ機能として平成24年に教育研究所内に開設しました。土日祝日や長期休暇中に、企業や地域からの依頼によって、児童・生徒自身が自分のやりたい仕事やイベントのお手伝い、ボランティアを行うことができる仕組みです。

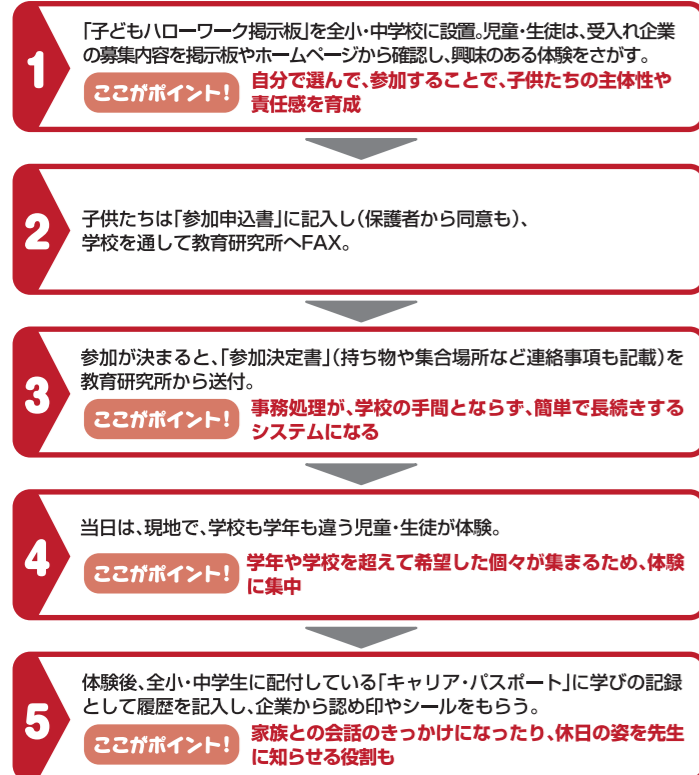
例えば、大館市で毎年、市民による実行委員会が企画運営する「本場大館きりたんぼまつり」は、観光客を含め3日間で13万人を動員するビッグイベントですが、このイベントを支えているのが、小中高生・大学生からなる1,000人を超えるボランティアです。この1,000人のボランティアは、子供たちが自ら、役割を選び、休日を返上して参加しており、お掃除隊やあいさつ隊など、スタッフとして、地域貢献の喜びや達成感・充実感を味わう1日となります。キャリア教育の一環として、各学校でも職場体験は実施していますが、それと別に「子どもハローワーク」を設置したのは、次の理由があります。

<従来の職場体験の課題>

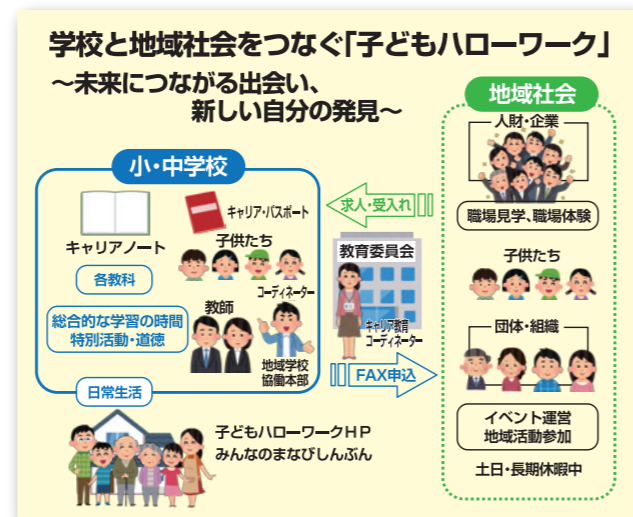
- 複数回にわたる職場体験は、学校にとっても受け入れる企業にとっても負担が大きい
- それぞれの学校が実施するには、職場の数や職種に偏りや限界がある
- 子供たちにイメージできる職業がごく限られている

子供たちに働く体験をさせたい、もっといろんな感動体験をさせたい、そして、社会を広く知ってほしい、地元企業のすばらしさや地域で働く市民と出会いたい……そんな思いから、「子どもハローワーク」のアイデアが生まれました。

<子どもハローワーク参加の流れ>



まもなく5年目を迎ようとしています。特に本市が必要としている専門職の育成については、「未来人材プロジェクト」を開始しました。例えば、医師を目指す子供たちには、病院や医学部への見学、模擬体験ができるようバスで近隣の市まで足を伸ばせるようにしたり、進路選択を目前に控えた高校2年生を対象に、あこがれの恩師と同じ教壇に立てるミニ教育実習ができるようにするなど、新たな取組が具体的な成果に結びつくことを期待しています。



企業・団体連絡先:

大館市教育研究所

〒018-3595 秋田県大館市早口字上野43-1
TEL: 0186-43-7114 e-mail: kyokenkyu@city.odate.lg.jp

コラム② 岡山県倉敷市の事例(大原美術館)

倉敷市では地域の魅力向上のために、大原美術館(土曜学習応援団)と連携しながら多様な学びの場を提供しています。

地域において、地域と共に生きて成長する美術館を目指して 大原美術館が展開する、社会に開かれた多様な「学びの場」

現在、博物館、美術館、科学館、水族館、動物園など、全国に5,000を超える多種多様な教育・文化施設が存在します。これらの施設には、これまで以上に地域社会に対して果たす役割が期待されています。大原美術館では、20年以上にわたり、地域住民や教育関係者、行政などの関係者と共に多様なプログラムを通じて地域や学校に「学びの場」を開いてきました。

美術館スタッフと地域・外部人材との協働プログラム“チルドレンズ・アート・ミュージアム”

大原美術館の“教育普及活動”の最大の特長は、教育担当者などの限られた学芸員だけではない、全スタッフ参画型運営といえます。当館でボランティアに活動するアテンダントスタッフから入館券販売や警備の職員にいたるまで美術館にかかわる全てのスタッフ自身が、子供たちや地域の方々と触れる活動が重要だと理解しているのです。

その活動の一つとして、毎年8月末の土日に実施している「チルドレンズ・アート・ミュージアム」は、美術館スタッフのみならず、1日200名近い外部からのスタッフを得ての協働体制で運営され、2日間にわたり美術館内のさまざまな場所で15前後のワークショップが同時に行われます。対話型美術鑑賞、ダンスワークショップなど、大原美術館ならではのユニークなプログラムが多数生み出されています。



- クロード・モネが描いた睡蓮を40分割して一人一人描き、40人集まると一枚の絵ができていく「みんなで描こう! モネの睡蓮」プログラム
- 繊維の町として有名な倉敷市児島町の帆布(はんぷ)に染めてある絵柄をいくつか選んで組み合わせ、地元の学生服を作っている方々がその場でミシンを使ってバッグを縫い上げるワークショップ(地域の材料・人・資源を生かす、という視点で企画された特長的なプログラムです)



<大原美術館が提供する学習プログラム ー教育普及活動 活動内容ー>

- 学校まるごと美術館
 - 未就学児対象プログラム
 - 出前講座
 - 博物館実習
 - ギャラリーツアー「フレンドリートーク」
 - ギャラリーツアー「大原美術館—その歴史と作品—」
 - 高階秀爾の美術教室
 - 夏期美術講座
 - ワークショップ
 - チルドレンズ・アート・ミュージアム
 - いきいきバスポートとの連携
 - その他 学校との連携 (詳しくはサイトをご覧ください)
- <http://www.ohara.or.jp/201001/jp/E/E2a.html>

地域の中で、地域の方々と共に生きて成長していく美術館でありたい

大原美術館が新たな時代にあって、新しい美術館の在り方を模索する中、大切なことの一つが教育普及活動であると考えています。今を生き、未来をつくる子供たちと、それを支える教員、保護者、地域の方々にとっても、意義ある存在となり、また共に成長していけるよう、そして、将来、成長した子供たちが、日々を生きる中、折にふれ当館を思い出し、訪れ、生きる力を得てもらえること、それが大原美術館の願いです。

企業・団体連絡先:

公益財団法人 大原美術館

〒710-8575 岡山県倉敷市中央1-1-15
TEL: 086-422-0005 e-mail: info@ohara.or.jp

地域と学校の連携・協働の推進に係る参考情報

●土曜学習応援団

<http://doyo2.mext.go.jp/>

民間企業、団体、大学等の協力を得て、子供たちの土曜日、休日、放課後等における教育活動の充実に向けた取組を推進する「土曜学習応援団」に賛同している民間企業等や提供されている学習プログラムを発信しています。

土曜学習応援団 検索

●新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について(答申)(中教審186号)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1365761.htm

中央教育審議会において、従来の学校支援地域本部等の活動を基盤に、「地域学校協働本部」を全ての地域に整備し、地域全体で学び合い未来を担う子供たちの成長を支える活動である「地域学校協働活動」を推進していくこと等が提言されています。

中教審答申186 検索

●「次世代の学校・地域」創生プラン ～学校と地域の一体改革による地域創生～

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/01/1366426.htm

中央教育審議会の3答申(上記答申、「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について(答申)」、「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～(答申)」)の内容を推進するため、具体的な施策と工程表がまとめられています。

創生プラン 検索

●幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)(中教審第197号)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1380731.htm

中央教育審議会において、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す学習指導要領の改善及び必要な方策等についての答申が取りまとめられました。

中教審答申197 検索

●学校と地域でつくる学びの未来

<http://manabi-mirai.mext.go.jp/>

学校支援地域本部や放課後子供教室等、地域と学校が連携して子供たちの成長を支えていく取組の概要や事例紹介、全国の実施状況、関係法令等の資料等についての情報を発信しています。

学び未来 検索

●地域と学校の連携・協働の推進に向けた参考事例集

<http://manabi-mirai.mext.go.jp/exam/2016.html>

地域において「地域学校協働活動」の推進、「地域学校協働本部」の整備、コミュニティ・スクールの促進といった答申の提案内容に沿った活動に積極的に取り組んでいる事例を紹介しています。

連携・協働 検索

●学校と地域でつくる学びの未来 表彰事例

<http://manabi-mirai.mext.go.jp/exam/commendation.html>

「地域による学校支援活動事例集」に掲載されている取組事例をはじめ、平成20年度以降に文部科学大臣から表彰を受けた活動の事例を紹介しています。

学び未来 表彰 検索

●コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/community/

コミュニティ・スクールに関する情報や資料を掲載しています。「コミュニティ・スクールパンフレット」、「学校運営協議会設置の手引き」、「ワークショップのすすめ」のダウンロードができます。また、全国8会場で開催するフォーラムやCSマイスターの派遣制度等の情報も掲載しています。

コミュニティ・スクール 検索

連絡先

文部科学省生涯学習政策局社会教育課学校地域連携・協働推進プロジェクトチーム
TEL:03-5253-4111(代表)内線:3080 e-mail:doyo@mext.go.jp